

留学は貴重な経験であり、良い思い出

N. 1.

シドニー大学 商学部 マーケティング学科 進学（オーストラリア）

水戸市立 内原中学校 卒業

国際教養コースでは、独自のカリキュラムで、アカデミックスキルズやプラクティカルイングリッシュといった、興味深い科目を履修できたことが、私自身の成長に大きくつながったと確信しています。アカデミックスキルズでは、世界の自治問題や日本の教育と他国の教育との比較というトピックなどを取り上げ、それらについて自分たちの意見を出し合うことで、さまざまな視点から物事を捉えられるようになったり、今世界で起きていること、問題視されていることを知ることができました。この授業のおかげで世界が広がり、自分が将来やりたいことを明確にできました。また、プラクティカルイングリッシュでは、ALTの先生と共にエッセイや長文リーディング、ロールプレイなどを通じて実用的な英語を学ぶことで、日本の生徒が不得意とするライティングやスピーキングの分野まで英語力を鍛えることができました。

私が3年間の中で、一番思い出に残っているのはやはりカナダに留学したことです。カナダに着いた当初は現地の人の英語がとても早くて、何を言っているのかさえわからない時もあったり、自分が伝えたいことをはっきり伝えられないもどかしさから自分の英語力にがっかりしたりしてしまったりするなど、苦しい場面がたくさんありました。しかし、その経験からもっと英語が上手になりたいと強く思うようになり、現地の友達とたくさん話したり、わからないことがあったら恐れずに聞いてみたり、プレゼンではネイティブの人と同じくらいに話せるようになるまで練習したりして努力を重ねることで、英語力はもちろんのこと、行動力もつきました。留学はキラキラしていて、楽しいことばかりのように思えるかもしれませんが、全く違う環境で過ごすので、もちろん辛い時もあります。しかし、その新しい環境に身を置いたからこそ気づけたこと、成長できたことを考えると、苦しかったことは全て忘れられるくらい留学生活は貴重な経験であり良い思い出です。

茨高には、進路のことにも、勉強のことにも親身に相談できる先生たちがいるのが、とても良いところの一つだと思います。勉強でわからないことがあれば、どの先生もいつでも対応してくれて、テスト期間中に勉強がとても捗りました。また、進路について悩んでいた時に、いろいろな先生に相談し、どの先生も親身に話を聞いてくれて、進路を決める上でとても助けになりました。また、茨高には意識の高い生徒が多いので、友達と切磋琢磨し、常に成長し続けることができる環境にあると思います。

大学では、経営やマーケティングに関する専門知識の理解を深め、インターンやケースコンペティションなどの大学が主催するイベントを通じて、学びを実践に活かせるような経験を積みたいと考えています。そして、社会でも通用するスキルを鍛えていきたいです。